

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ソーサラー	Lv.1:	メイジ	レベル	12
サポートクラス	サモナー	Lv.1:	サモナー	性別	女
称号クラス				年齢	11
種族	エルダナーン			境遇	義理の親
出自(効果)	魔術師			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	8	18	29	17	10	7
ボーナス	3	2	6	9	5	3	2
クラス修正	0	0	0	3	1	3	1
他修正							
能力値	3	2	6	12	6	6	3

HP	74
MP	124
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	マジックスタッフ	至近	-1	2	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部	ガードローブ					9	3	1	-1
補助									
装身具	理知の宝玉								
	能力値		2	0	6	0	6	12	8
スキル								1	
その他									
	総計(右)		1	2					
	総計(左)				6	9	9	14	7
	総計(両)								m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	12			12	+ 3 d
アイテム鑑定	12			12	+ 2 d
魔術判定	12			12	+ 4 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
Mpot	
メイジハット	
サーコート	
メイジローブ	

現在重量: 7  
 最大重量: 9  
 所持金: 119090  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	作成時に知力基本値+3							
マジシャンズマイト	5	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果:	魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。							
フォースプリンガー	5		パッシブ					
効果:	SL*4ダメージ							
ブラッドパクト	3		パッシブ					
効果:	サモナースキルの消費MP-3							
コンセント	1		パッシブ					
効果:	魔術判定+1D							
ディシプリン	◇		パッシブ					
効果:	スキルで行う判定の達成地に+[SL+1]							
エルダーマジック	1		パッシブ					
効果:	魔術判定+1D							
マジックゲイザー	1		パッシブ					
効果:	魔法ダメージ+1D							
ファミリア	2		アイテム					
効果:								
サークル	3	4 -3	マイナー					
効果:	ダメージに+3D							
アニマルパクト	1		マイナー					
効果:	魔法攻撃範囲の範囲(選択)視界化							
リゼントメント	1		魔法同時					
効果:	+Lv*10ダメージ(*単体)							
ビーストベイン	1	4 -3	メジャー	20	単体	魔術		
効果:	2D+10ダメージ無属性 獣・魔獣の類に魔法防御0							
フォージ	3	3	ダメR前				シーン1	
効果:	SL*2D							
アンプリフィケーション	3		パッシブ		自身			
効果:	魔法攻撃のダメージに+[SL*4]							

Lv12現在、最大火力は  
 フォース マイト ゲイザー サークル フォージ リゼント ビースト アンプリフィケーション コンデンス  
 $20 + 5d + 1d + 3d + 6d + 120 + 2d + 10 + 12 + 15 = 168 + 17d$   
 平時は上記からマジックフォージ、リゼントメント、コンデンスを除いた  
 $42 + 11d$  この消費MPは2  
 スキル使用による魔術判定は $14 + 4d$

ファミリアは敏捷と感知。その姿形はまだ不定で、白い霧の球体のようである。  
 後述のシナリオの影響で現在、感知のファミリアはインコの姿で定着している。

魔術師の名家に生まれた彼女の才覚は歴代の先祖よりも遙かに優れたものであった。将来を有望視された彼女だったが、精霊魔法に興味を示すことなく、動物の王の力を借りる召還術に傾倒していった。  
 そのため、純粋魔術師の家系だった生家は精霊魔法を使わない彼女の存在を世間からひた隠した。  
 6才の時、彼女は遠縁のナーゲル家に、半ば追い出されるように養女として送り出され、絶縁した。  
 隠遁生活を送る養父は優しい男であったが、ティアーの才能を知ると、彼女は隠れて暮らすような器でないと考え、外の世界へ出ることを勧めた。ティアーは実家に知られ養父に迷惑がかかることを心配したが、「そんなことは気にするな、もっと、広い世界に目を向けろ」という養父に背中を押される形で間もなく旅に出た。

性格は素直だが口数は少な目で若干マイペース。  
 丁寧語以外の敬語を使えない。

